

今週のビルマのニュース 2011年8月12日 (1127号)
シャン州の避難民3万人に 米政府の特使が決まる IMFに支援要請

【ビルマ国内・国際関係】

- ・ シャン民族の亡命者組織の発表によれば、3月から断続的に戦闘が続いているシャン州北部で、戦闘や国軍による残虐行為を逃れて約3万人が国内避難民となっている。食料や水、薬等が不足しており、死者も出ている（10日シャン女性行動ネットワークほか）。米国では10日、連邦議会の女性上院議員13人がクリントン国務長官に手紙を出し、同州の情勢にも言及しつつ、国軍が紛争地域で強かんを戦争の武器として使用するのを止めるよう働きかけ、国連調査団設置の実現に向けても一層の努力をするよう求めた（手紙本文）。
- ・ 1988年の民主化蜂起から23年目の8日、世界各地で記念行事が行われた。ビルマ国内では民主化運動指導者アウンサンスーチー氏と支持者ら数百人がラングーン（ヤンゴン）の僧院を訪れた。（8日AFPほか）
- ・ 米議会上院は2日、デレク・ミッチェル国防筆頭副次官補をビルマに関する特別代表・政策調査官として承認（4日AFP）。これは08年成立の対ビルマ制裁法に基づく大使級ポスト。ブッシュ前大統領は元NSCアジア上級部長のマイケル・グリーン氏を指名したが承認手続きが完了しなかった。ミッチェル氏が初代となる。
- ・ ビルマ政府が国際通貨基金（IMF）に、為替制度の近代化や国際送金等への制限の解除に向けた支援を要請したことが明らかになった。これを受けてIMFは10月に同国に技術チームを送る予定。（8日WSJほか）

【政府開発援助（ODA）】 新たな発表はなし。

【注目アイテム】

- ・ アウンサンスーチー氏が日本経済新聞と単国会見。「スー・チー氏、日本政府の姿勢批判 『ミャンマーに変化起こす努力を』」（4日日経朝刊及び電子版）
- ・ デレク・ミッチェル、マイケル・グリーン「ミャンマー軍事政権への多国間アプローチを調整せよ」（フォーリン・アフェアーズ日本語版08年1月）概要：http://www.foreignaffairsj.co.jp/archive/yoshi/2008_01.htm#9
- ・ シャン女性行動ネットワークほか「シャン州北部での戦闘や残虐行為により約3万人が避難 物資が不足、死者も」（10日付プレスリリース。人権侵害事例の詳細や地図、動画も）。<http://www.shanwomen.org>
- ・ 「東部で3万人以上が国内避難民に 国軍と少数民族の戦闘激化」（12日アジアプレス経由 Yahoo!Japan）<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20110812-00000000-asiap-int>
- ・ ラングーンで行われた88年民主化蜂起記念行事の様相（宇田有三氏撮影、ビルマ情報ネットワークのウェブサイトに掲載）。記帳するアウンサンスーチー氏など。<http://www.burmainfo.org/gallery/photo.php>
- ・ 久保忠行「グローバル時代のビルマからの声～当事者の『肉声』にいかにかに耳を傾けるか」（守屋友江編訳「ビルマ仏教徒 民主化蜂起の背景と弾圧の記録」の書評。6日付図書新聞3025号）http://toshoshimbun.jp/books_newspaper/shinbun_list.php?shinbunno=3025（ログインが必要）
- ・ 2人のフランス人が旅行者のふりをしてビルマに入り...国内の様子を風刺的に紹介する、笑えてしまうドキュメンタリー「Happy World: Burma, the Dictatorship of the Absurd」（動画、約30分）http://www.slate.com/blogs/browbeat/2011/08/05/happy_world_a_surprisingly_funny_documentary_about_burma_.html

【イベント情報】（〔 〕内は主催者。共催等は省略）

- ・ [アムネスティ岐阜グループ] ドキュメンタリー『ピュア希望の鐘』上映・ココラット氏講演会（岐阜・ハートフルスクエアG 涯学習センター中研修室、27日13時半～15時半、開場13時15分）
- ・ [ビルマ市民フォーラム] 第65回例会「第三国定住から一年」講演：マウンミョーミンスウェ氏、ソーバラテイン氏（カレン民族機構議長）他（池袋・生活産業プラザ8階多目的ホール、9月10日18時～）

もっと詳しい情報・お問い合わせは
ビルマ情報ネットワーク <http://www.burmainfo.org>